

WORLD HERITAGE

# 世界遺産講演会

～世界遺産登録をめざして～



世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会

(明日香村・橿原市・桜井市・奈良県)

## 提案のコンセプト

### 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」

「飛鳥・藤原」は、奈良盆地の東南に位置する丘陵に囲まれた飛鳥、その北側の香具山、耳成山、畝傍山に囲まれた藤原からなり、明日香村、桜井市、橿原市にわたっている。

592年に推古天皇が飛鳥に豊浦宮を開いてから、710年に藤原宮から平城宮に遷都するまでの間の、いわゆる飛鳥時代に多くの天皇が宮を置いた地域である。

「飛鳥・藤原」は、日本の古代政治の中核で、律令国家もこの地を基点に誕生し、その形成から確立までの過程を解明できる古代都市空間である。当時、ここには天皇の宮殿や皇子の宮、そして大陸からの知識・技術を取り入れて建設された諸寺院の伽藍が聳えていた。また、飛鳥時代後半には律令国家の体制の基礎固めとなる都城として中国の都に学んだ藤原京が建設され、本格的な古代国家が始動した。

このように「飛鳥・藤原」では東アジア・東南アジアの諸外国との交流の中で国家の体制を整えていったことが、建造物や古墳などの構築物にとどまらず、諸外国の人々を迎え入れた寺院、迎賓館や庭園から出土する遺物にも認められる。またこの地域には諸外国の技術を受容した先進的文物を制作した工房等が存在した。

この時代には律令国家の根幹をなす国家儀礼・官僚・身分・税などの制度の完成、そして日本の経済制度に大きくかかわる貨幣の鑄造がおこなわれる。また、律令国家体制の確立は、人々の死後世界にも影響し、身分秩序体系が墓（古墳）の立地、形状、規模、内部構造に導入されている。

飛鳥時代は、我が国初の歌謡を集めた万葉集、初めての歴史書・正史にあたる「古事記」・「日本書紀」の編纂がされた時期でもあり、飛鳥・白鳳文化として花開き、次の「古都奈良」を中心とした天平文化へと受け継がれ、昇華する。このように「飛鳥・藤原」の地は古代日本の首都であり、現在に至る我々の生活習慣の礎となっている。

都が「飛鳥・藤原」の地を去った後、多くの寺院が残されたが、平安時代の終わりにはこれらの寺院は衰退していくことになる。飛鳥・白鳳文化に育まれた宮殿や寺院、庭園、工房などは時を通して水田や里山として埋没し、現在、地下に良好な遺構として存在する。

万葉歌が読まれた飛鳥時代の風土や石造物は時間を超えて現在にも受け継がれ、目のあたりにすることができる。特に大和三山は、万葉集や古今和歌集に多数詠まれ、その眺望は日本を代表する歴史的景観を有している。

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」は、古代における日本の中心的な遺跡群であり、国内において他に例をみない重要な遺跡である。

## 構成資産一覧表

名 称	所在地	保護の主体	保護の種別
石舞台古墳	明日香村	国	特別史跡
高松塚古墳	〃	〃	〃
キトラ古墳	〃	〃	〃
川原寺跡	〃	〃	史 跡
大宮大寺跡	〃	〃	〃
牽牛子塚古墳	〃	〃	〃
中尾山古墳	〃	〃	〃
酒船石遺跡	〃	〃	〃
定林寺跡	〃	〃	〃
飛鳥寺跡	〃	〃	〃
橘寺旧境内地	〃	〃	〃
岩屋山古墳	〃	〃	〃
伝飛鳥板蓋宮跡	〃	〃	〃
飛鳥水落遺跡	〃	〃	〃
飛鳥稲淵宮殿跡	〃	〃	〃
マルコ山古墳	〃	〃	〃
飛鳥池工房遺跡	〃	〃	〃
檜隈寺跡	〃	〃	〃
飛鳥京跡苑池	〃	〃	史跡・名勝
岡寺跡	〃	〃	史 跡
藤原宮跡	橿原市	〃	特別史跡
本薬師寺跡	〃	〃	〃
植山古墳	〃	〃	史 跡
丸山古墳	〃	〃	〃
菖蒲池古墳	〃	〃	〃
藤原京朱雀大路跡	〃	〃	〃
大和三山	〃	〃	名 勝
山田寺跡	桜井市	〃	特別史跡

# 国内の世界遺産

【平成20年9月26日現在】

## ●世界遺産リスト記載物件【14件（内訳：文化遺産11件、自然遺産3件）】

名 称	所 在	区分	暫定記載年	一覧表記載年
法隆寺地域の仏教建造物	奈良	文化	平成4年	H 5. 12. 11
姫路城	兵庫	文化	平成4年	H 5. 12. 11
屋久島	鹿児島	自然	平成4年	H 5. 12. 11
白神山地	青森、秋田	自然	平成4年	H 5. 12. 11
古都京都の文化財	京都、滋賀	文化	平成4年	H 6. 12. 17
白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜、富山	文化	平成4年	H 7. 12. 9
原爆ドーム	広島	文化	平成7年	H 8. 12. 7
厳島神社	広島	文化	平成4年	H 8. 12. 7
古都奈良の文化財	奈良	文化	平成4年	H10. 12. 5
日光の社寺	栃木	文化	平成4年	H11. 12. 2
琉球王国のグスク及び関連資産群	沖縄	文化	平成4年	H12. 12. 2
紀伊山地の霊場と参詣道	三重、奈良、和歌山	文化	平成13年	H16. 7. 7
知床	北海道	自然	平成16年	H17. 7. 17
石見銀山遺跡とその文化的景観	島根	文化	平成13年	H19. 6. 28

## ●暫定リスト記載物件【13件（内訳：文化遺産12件、自然遺産1件）】

名 称	所 在	区分	暫定記載年	一覧表記載年
古都鎌倉の寺院・神社ほか	神奈川	文化	平成4年	
彦根城	滋賀	文化	平成4年	
平泉一浄土思想を基調とする文化的景観	岩手	文化	平成13年	H20. 7. 7 登録延期決定
富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬	文化	平成19年	
富士山	静岡、山梨	文化	平成19年	
飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	奈良	文化	平成19年	
長崎の教会群とキリスト教関連資産	長崎	文化	平成19年	
小笠原諸島	東京	自然	平成19年	
北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道、青森、 岩手県、秋田県	文化	平成20年	
金と銀の島、佐渡 一鉱山とその文化一	新潟	文化	平成20年	
九州・山口の近代化産業遺産群 一非西洋世界における近代化の先駆け一	福岡、佐賀、長崎、 熊本、鹿児島、山口	文化	平成20年	
宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡	文化	平成20年	
百舌鳥・古市古墳群 一仁徳陵古墳をはじめとする巨大古墳群一	大阪	文化	平成20年	

## 世界遺産の登録基準への該当性

### ① 資産の適用種別及び世界文化遺産の登録番号

飛鳥・藤原の宮都及びその周辺の遺跡群は、宮都、庭園、寺院、古墳の設計・構造・建造・使用の精神的・物的背景に東アジア世界諸国との強い交流が認められる。

世界遺産一覧表への価値基準 ii に該当

飛鳥・藤原所在の遺跡は、我が国の古代日本形成に直接かかわった遺産であり、その後の文化に深い影響を及ぼし、現代社会と密接な関係を有する事例である。

世界遺産一覧表への価値基準 iii に該当

飛鳥・藤原は、我が国の律令国家発祥からその形成過程を解明できる地である。地下に埋蔵された遺跡には律令性にのっとりた宮都、我が国初の七堂伽藍を備えた寺院、階級制を反映した古墳がある。

世界遺産一覧表への価値基準 iv に該当

飛鳥・藤原の景観は、我が国初の歌謡である万葉集に多く詠まれ、特に名勝大和三山は古代から現在に至るまで変わることのない優れた景観・眺望を有している。

文化的景観 ②に該当

### ② 真実性及び完全性の証明

飛鳥・藤原地域の文化財調査によって得られる資料は、当時の原資料であり「日本書紀」等の古記録と重ねて、我が国の律令国家発祥の姿を生々しく復元できる資料である。また、現在残る景観は万葉集にも詠まれ、1300年にわたる歴史的景観を伝えるもので、日本の原風景であることから真実性は極めて高い。

例 宮都、木簡など	……律令国家発展過程の証明
苑池	……東アジアの思想と技術交流の証明
寺院、瓦など	……東アジアとの技術交流と新建築技法の証明
水時計、飛鳥池工房	……飛鳥・白鳳文化の技術・知識の証明
石舞台、酒船石	……独特の巨石文化と石造文化の証明
古墳壁画	……東アジアの壁画思想と芸術の証明
大和三山	……時代を超えて残存している景観

また、本資産は飛鳥時代の宮都を資産の中核にその周辺の関連遺跡と捉えており、史跡として未指定の遺跡または史跡指定の範囲等が本来の範囲にいたっていない部分は、必要な調査等の実施に努めるとともに、地元住民の協力を得ながら史跡の指定または追加指定を行うことにより完全性を求めていく。

### ③ 類似遺産との比較

飛鳥・藤原の文化財は、地下に遺跡として良好に遺存している。これらの遺産は、歴代天皇が政をおこなった宮都、東アジアの精神文化を表現した酒船石・苑池をはじめとした石造物・庭園、新たな宗教として大陸・半島より受容された仏教の殿堂としての諸寺院、宮人・官人の奥津城としての古墳などから構成されている。これらは、7世紀から8世紀の東アジア世界の政治・経済体制を具現化する重要な遺跡である。東アジアには大韓民国の「慶州歴史地区」が飛鳥・藤原と同時期・同種類の世界遺産が存在するが、慶州には宮都が含まれず資産の中心構成要素が基本的に異なる。また奈良には「法隆寺地域の仏教建造物」が同時期に相当するが、その評価は我が国に受容された仏教およびそれにかかわる建造物の現存にある。また「古都奈良の文化財」は、飛鳥・藤原とは時代が異なるとともに中心資産である古都と現存する社寺の関連が世界遺産への評価となり、宮都とそれにかかわる多様な遺跡とのかかわりを強調する飛鳥・藤原とは大きく異なる。それゆえ、「飛鳥・藤原—古代日本の宮都と遺跡群」が他の遺産との比較においても優位・独自性を有することは歴然である。

## パンション教授 講演要旨

### 「南仏の世界遺産」

モンペリエ第三大学教授 ジャン フランソワ パンション

1972年 世界遺産条約成立

1975年 フランスは始めてこれに署名

1979年 最初のフランスの遺跡が世界遺産に登録された

以後今日まで30の文化遺跡、2つの自然遺跡が登録されている。

フランスの世界遺産の特徴 その多様性 たとえばラスコ-の洞窟をはじめ、数々の洞窟が

見られるヴェゼ-ル溪谷の考古学的遺跡、

ヴェルサイユ宮殿やロワ-ルのお城群、第2次大戦後オ-ギュスト、ペレによって再

建された鉄筋の超近代的な町、ルア-ヴル等

ラングドック ルシヨン地方の世界遺産

(現在パンション先生のお勤めのモンペリエ大学がある南仏の学園

都市モンペリエが行政の中心地であり地方議会所在地)

1 ポン ジュ ガ-ル (ロ-マ属州ニ-ムへ水を供給する水道橋)

2 17世紀に作られた南仏運河

3 中世都市カルカッソンヌ (モンサンミシエルについて二番目に観光客に人気のある)

南仏運河

当初は王の運河と呼ばれた。1789年革命以後南仏運河と称される。

全長241キロメートル、オ-ド県、ヘ-ロ-県、高地ガロンヌ県をまたぎトウ-ル-ズでガロンヌ川から分岐、セ-トの近くト-干潟湖を経て全長241キロメートルの運河である。今日17世紀最大の工事であったと考えられている。350の土木工事のうち、63の水門、126の橋、55の水道橋、7つの橋、6つのダムと1つのトンネルを有している。1666年から1681年ルイ14世下、ピエ-ル ポ-ル リケの監督のもとに建設され、今もなお現役で使用されているヨ-ロッパ最も古い運河である。

運河建設の目的 スペインのフランスへの通行税の排除 (それまではジブラルタル海峡を通っていたので通行税を取られていた) と王の権力の誇示

運河建設の財源 塩税の創設

運河建設を可能にした技術 ピエ-ル ポ-ル リケ

コルベ-ルの意図 絶対主義の南仏への定着

## ポン ジュ ガル

### 建設の時代

ポン ジュ ガルはクロ・ドの時代に着手されたといわれている。紀元一世紀半ば（およそ紀元 40 年-60 年）に遡るローマ建築の傑作である。

規模 ニームからユゼスまで約 50 キロメートル。ガル川の部分では全長 274 メートル、高さ 48 メートルにおよぶ水道橋であり、アーチ型の三層構造になっている。水路配水装置として一つの運河、3 つの池、幾つもの水道橋、数百メートルのトンネルを含む。

### 世界遺産に選別された過程

フランス歴史建造物委員会が推薦したのは実は隣のアルル、オランジュの古代遺跡であった。「その時代のままである」という絶対的な基準を尊重した結果である。ニームの遺跡は 19 世紀にあまりに修復されすぎていたので、、、

しかし水道橋の場合、その独創性と例外的な特徴はただ単にその高さだけにあるわけではない。恐ろしい増水時に川の水を通すのに好都合な構造にある。3 層に重なったどっしりとしたアーチ型のシルエットがガルドン川の入り口に下層階部を下にしっかりと据え付けられた。更に建設時にはどこもしっかりと止めつけられたのであった。究極的には実用を目的とするこの芸術作品には経済的な問題が常にあったので、使用された材料は貝殻を含んだ石灰岩であり、近郊の石切り場から持って来た。上階の仕上げ面の装飾用飾りを考慮して小さくカットされた石材を使った。しかし本質的にはこの建築にはモルタルを使用しない大きな石積み法が使用された。中世にはこの橋は車両用に橋として使用されたのだが、まだ遺跡云々など問題になっていない前の時代、18 世紀にラングドック政府修復を命じ、この橋の負担を軽減するために車両用の橋を別に建設した。

この橋は近代にはすでにラングドックを旅行する人々にとって避けては通れない観光地になっていた。ジャンジャックルソも告白録のなかでこの橋のすごさに驚嘆している。

1830 年歴史建造物委員会の創設後すぐにこの橋は万人の注目をあびることになった。

この満足すべき保存状態は大きな修復の必要もなかった。1985 年に世界遺産として登録され、2007 年更に拡張され登録される。

## カルカソンヌ

この城塞都市は 1997 年に世界遺産に登録された。6 ヘクタールの中世都市がそっくりそのまま保存されているヨーロッパ最大の中世都市である。町はシテ（城塞都市）と下町の城下町とに分かれている。

### 都市建設の時代 紀元前 6 世紀原史時代史の時代

紀元前 27 年 ローマの植民地になった。333 年には既に城として記録に残されている

5 世紀の前半 西ゴート族がゴル南西部ついでスペインを占領し、485 年テオドルとヴ

ァランチヌアンによって署名された条約によってこの統治は永久に続くことに決められた。

- 8世紀初頭、725年から759年 サラセンの侵入、回教徒の占領
- 759年 ペパン短足王がフランク族の王としてこの町の長となる
- 820年 カルカッソヌヌ行政区がおかれる。
- 925年 司教サン ジメル下サン ナゼ-ル、サン セルス両教会についての最初の記録
- 1000年頃 城壁外への城下町の発展
- 12世紀まで エルムノンガルド(カルカッソヌヌ伯爵のラゼス伯爵、ベジエ子爵の継承者)とレイモン ベルナル トランカヴェル(ニ-ムとアルビ子爵、1071年没)との結婚後公国の領土は著しく発展
- 息子ベルナル アトンその没年1129年までカルカッソヌヌ、ラジェス、ベジエ、アルビ、ニ-ム子爵であった。没後3人の息子が継承
- 1209年-1229年 町の慣習法制定、領事の創設によって新しい市民法を制定
- 13世紀 都市地形測量図には下町とコンタル城の建設が記されている。
- サン ヴァンサンとサン ミシェルという2つの下町の建設
- ベルナル アトン トランカヴェルは、自然の凹凸によってもっとよく防御できる岩の控え壁のところに palatium と呼ばれる新しい城を建設
- 1208年 法王特使の暗殺、法王のアルビ十字軍によりカルカソヌヌに苦難の歴史
- 1209年 ベジエの略奪後十字軍はカルカッソヌヌの前に陣をしいた。2週間後に降伏
- 町はシモン ド モンフォル(彼は1218年、死の年まで十字軍を率いた)の領土となる
- 1224年 彼の息子アモ-リ-はトゥ-ル-ズ伯レイモン7世の指揮下で抵抗する南仏の前にカルカソヌヌへの権力を諦めイ-ル ド フランスへと帰って行った。
- レイモン ロジェ トランカヴェル(1209年牢獄で死)の息子レイモン トランカヴェル2世はそれを期に領土を奪還し、子爵を名乗った。
- 1226年 直接統治をめざす国王ルイ8世は軍を派遣し、カルカソヌヌの住民はこれに服従
- 1240年 レイモントランカヴェル2世再び町を取り戻そうと図り、城下町の住民と一緒にシテのまわりに陣をしいた。一ヶ月後王の救援部隊到着前に降伏
- 1244年 この報復としてシテのまわりの下町破壊される
- 1247年 レイモントランカヴェル2世は継承権を放棄、王聖ルイへの忠誠を誓い、聖ルイは住民も許し、新しい城下町サンルイを建設。数十年間シ-ツや布地の



通商により町は発展し、14世紀にはラングドック有数の町になっていた。  
 13世紀末建築史上も非常に卓越した技法で城、城壁が修復、再建された。  
 ピレネ - の境界線を守る防御機能を強化され、強固な城塞都市となった。  
 14世紀にはトイレや暖炉も備えた要塞であると同時に居住空間も快適な  
 都市になっていた。

- 百年戦争 英国人によって町は破壊され、焼かれた。フランスの勝利後再建  
 1659年 ピレネ - 条約、カルカソンヌは境界線を守る防御機能の役割を終える。その  
 後都市は荒廃  
 19世紀 ユジェヌ ヴィレ デュ デュックの才能により荒廃した都市が再び復興  
 され、華麗な要塞都市としてよみがえった。  
 1997年 世界遺産に登録される

### 【 ジャン フランソワ パンション教授略歴 】

〈1958年3月25日生〉

モンペリエ第三大学教授

- 1987年 パリ第4大学〈ソルボンヌ〉にて芸術史および考古学博士  
 2001年 パリ第4大学〈ソルボンヌ〉にて研究指導資格取得  
 1989-2002年 モンペリエ第三大学芸術史、及び考古学学科助教授  
 2000-2001年 同専門高等研究課程〈20世紀絵画、保存、修復、管理部門〉長  
 2002年以來 モンペリエ第三大学教授〈現代芸術史〉  
 2003-2007年 同芸術史、及び考古学学科長  
 1999-2000年 〈造形学術部門〉及び2006-2008年〈学術史試験官、建築学口答諮問担当〉  
 アグレガシオン〈中高等学校教授資格〉試験審査員  
 1995年、1986年 パリ市2区、9区及び15区、オルセー美術館での展覧会 企画担当委員  
 1986-1987年 トウール現代創造センター、1987年ヴィルヌーヴ ダスク美術館  
 及び「ブリュセルの建築」創設に指導的役割をはたす  
 これらの功績によりパリ市より銀賞受賞  
 1996年 19/20 協会創設

〈19世紀、20世紀文化財の評価、研究を目的とする会〉創設者であり事務局担当  
 この協会の活動のおかげでモンペリエ及びその周辺の19世紀、20世紀の重要な  
 建造物を歴史建造物として保存することに成功

〈例 1930年代のサンシャルル病院、19世紀のカステラーヌ市場等〉

またラングドック、ルシヨン地方の様々な教育機関において文化財に関する教育、資料の学術的  
 保存、修復、管理等势力的に講演や指導にあたっておられます。